

事業所名		えのん		公表日 2025年2月28日			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	4	2	1	■十分な広さではあるが、個別対応が十分に行えないこともある。放デイ同様パーテーションが必要。■人数によっては足りない。■間仕切りなど配慮しているが限界はある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		■子どもの状態や、障がいの程度により対応の難しさはあり。臨機応変に声をかけあっている。利用人数が多い場合、対応が十分にできていないのでは。	
	3	事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	4	2	1	■現時点においては対応は可能。今後不具合があった場合にはさらに工夫が必要。■肢体不自由の子どもは筋力等もないため現状が良いとは思わない。	
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	1	■専門的観点からもお伝えしていく必要あり。	
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	6			
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか。				今回は初回の評価であり、令和7年3月公表予定	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				第三者委員会の設置なし	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	1	■リタリコのみ。県内外の研修を受けたい。	
適切な 支援の 提供	9	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	2			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3	3	1		
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2			
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	7				
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1			
	15	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	6	1			
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	1			

	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	1	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	19	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	2	5		■必要に応じて保健師とのパイプは必要ではないか。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。				医療的ケアが必要な子ども、重症心身障害児の受入れなし
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか。				医療的ケアが必要な子ども、重症心身障害児の受入れなし
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		■まだ行っていない。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	1	1	■助言は受けていると思う。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	1	5	
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	3	
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		
保護者	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	3	3	1	
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		■専門的用語は省いて、分かりやすく説明していく。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		1	
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		1	6	■これからできたらと思っている。

への説明等	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		
	37	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	2	■ハロウィンイベントなど地域と交流した。■現在活動を通じて、地域との関わりを持ち始めているところ
非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	3		■予防接種状況の確認は未実施。基本情報は事前に確認する必要あり。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		2	■アレルギーの確認は医師の指示書ではなく、保護者からの情報提供。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			